

学校だより

頸城

令和7年4月15日

上越市立頸城中学校

〒942-0164 頸城区潟口 60

TEL 530-2405 FAX 530-2014

学校メール kubiki-j@jorne.or.jp

令和7年度スタート ～大切にしてほしいこと～

上越市立頸城中学校長 山本 宏幸

元気なあいさつ。話を聞く真剣な眼差し。自信をもって活躍するリーダーたち。掃除に熱心に取り組む姿。入学式でのあたたかな雰囲気と心に響く拍手と歌声。4月最初の出会いの日から、大変立派な頸城中の生徒の姿に感動する毎日です。今年度最初の学校だよりは、生徒の活躍と成長を願い、始業式や入学式で伝えた大切にしてほしい3つのことを保護者や地域の皆様にも紹介します。

令和7年度、よろしくお願いいたします。

① 「自分との^{じぶん}違^{ちが}いを^{そんちよう}尊重すること」

人はそれぞれ違う個性や背景、考えを持っているものです。その「違い」を恐れることなく、新たな考えや知識を得るチャンスとして捉えてください。「違い」を感じることは、自分の人間としての幅を広げる大きなチャンスです。多様な習慣、文化、考え方に触れ、話し合いを通じて互いを理解し、互いに『調和』した新しい価値を見出してください。

② 「授^{じゆぎょう}業^{たいせつ}を大切にすること」

新しい知識を学ぶことはとても楽しいことです。新しい知識で、自分にできることが増えていくと、今後の可能性が広がります。新しいことを学ぶ楽しさを、授業を通じて実感してください。

また、中学校の大切な役割に、社会に出て通用する力を身に付けることがあります。その最も大切な学びの場が、授業です。フォーマルな場の言葉遣いや立ち居振る舞いを身に付けるのです。社会性とも言われるこれらの力は、皆さんが将来社会に出て、他者と『調和』して活躍するために必要不可欠なものです。授業を通して、各教科の力を身に付け、社会性を身に付けることで、社会に貢献できるたくましい若者に成長してください。

③ 「感^{かんしゃ}謝^{こころ}の^{わす}心を忘れないこと」

先月から自宅の給湯器が壊れ、お湯が出ない状況がしばらく続きました。修理を依頼する過程で、「蛇口をひねればお湯がでる」ことに、多くの関係者のありがたい支えがあることに気づかされました。みなさんの生活に置き換えてみると、「当たり前のように提供される給食」、しかし、皆さんに給食が届くまでには、「食材を作る人」「食材を運ぶ人」「献立を考える人」「調理をする人」「運ぶ人」「給食を配膳する仲間」「給食費を払ってくれる保護者の方々」、思いっただけでも、実に多くの方々からの支えや助けで成り立っているのです。

常に、感謝の気持ちを持ち続け、周囲との絆を感じてください。「あたりまえ」を見直し、積極的に「ありがとう」と伝えることで、多くのみなさんと『調和』し、豊かな人生を築くことができるでしょう。

頸城中学校の令和7年度のスタートです！よろしくお願いいたします。